



2023年6月1日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマザワ
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
(コード番号 9993 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 工藤 和久
(TEL. 023-631-2211)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2023年5月31日に東北財務局に提出いたしました2023年2月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2023年2月期の決算業務の過程において、過去の関係会社株式の評価に誤りがあることが判明いたしましたので、過去の決算を修正し、2021年2月期及び2022年2月期の有価証券報告書について訂正報告書を提出するとともに、2021年2月期及び2022年2月期の決算短信を訂正いたしました。当社では買収にあたり、連結上資産再評価した子会社に係る株式評価において、買収時の評価差額及び買収後の会計処理を実質価額の算定に反映していなかったため上記の誤りが発生しました。よって、当社はこの関係会社株式の評価に関する決算・財務報告プロセスの内部統制に不備があったと判断し、また、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなったことから、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

また、当社は上記に記載の訂正報告書の提出と同日に2023年2月期決算短信を開示しましたが、その後、決算短信で開示した連結財務諸表に誤りがあることが判明し、決算短信を一部訂正いたしました。当社では、過去の有価証券報告書及び内部統制報告書の訂正報告書及び決算短信といった複数の開示書類を同時に作成するにあたり、開示前の検証は行っていたものの、その検証の精度が十分でなかったこと及び当事業年度固有の事象を連結財務諸表に反映するための会計処理に関する専門的知識が不足していたため、当期より新たに適用した収益認識に関する会計基準に関連した連結貸借対照表における組替処理、上記に記載の過去の誤謬の訂正に関する連結修正仕訳の起票処理及び非定例的な取引に関する連結キャッシュ・フロー計算書における組替処理において誤りが発生しました。よって、当社は決算・財務報告プロセスにおける検証の精度及び専門的知識の不足といった内部統制の不備があったと判断し、また、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなったことから、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。

2. 連結会計年度末までには是正できなかった理由

上記の内部統制の開示すべき重要な不備は、判明が当該連結会計年度の末日以降であったため、当該連結会計年度の末日までには是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、開示すべき重要な不備を是正するため決算・財務報告プロセスにおける関係会社株式の評価に関する経理業務の内部統制の整備及び運用、また、検証機能の強化及びさらなる専門的知識の向上を再発防止策として図り、財務報告の信頼性を確保していく方針でございます。

4. 連結財務諸表及び財務諸表に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、全て連結財務諸表及び財務諸表に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上